

**2/9-15 #4 手順を経た三一の神の中心としてのキリスト:** I. 神聖な三一の最も明確な啓示は、**マタイ 28:19**にあります。「だから、行って、すべての諸国民を弟子とし、父と子と聖霊の名の中へと彼らをバプテスマして」: A「名の中へと」は、パーソンを示します: **1**バプテスマされることは、父と子と聖霊の名(パーソン)の中へと、手順を経た三一の神との有機的な結合の中へとバプテスマされることです。 **2**マタイ 28:19の「の中へと」という言葉が示しているのは、ローマ 6:3、ガラテヤ 3:27、1コリント 12:13にあるような結合です。 **ガラテヤ 3:27** なぜなら、キリストの中へとバプテスマされた者はみな、キリストを着たからです。 **1コリント 12:13** なぜなら、私たちはユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由人も、みな一つ霊の中で、一つからだの中へとバプテスマされ、みな一つ霊を飲むようにされたからです。 **3**人々を三一の神の御名の中へとバプテスマすることは、彼らを彼との霊的で奥義的な結合の中へともたらすことです。 **4**マタイ 28:19において、神聖な三一のための一つの名があります: **a**その御名は、神聖な存在の総合計であり、彼のパーソンと等しいのです。 **b**信者たちを三一の神の御名の中へとバプテスマすることは、彼らを三一の神であるすべての中へと浸し込むことです。 **B**神は三一です: **1**マタイ 28:19で、主は三つのパーソン、すなわち父、子、聖霊について語りました。 **2**ここで彼が父、子、聖霊の名について語った時、原文では「名」は単数です。 **3**このことが意味するのは、父、子、霊は三ですが、名は一であるということです。 **4**三つのパーソンに対して一つの名があることは真に奥義的であり、神が三一であることを啓示しています。 **5**この名は、三者、すなわち父、子、聖霊を含んでいます。 **6**神は唯一無二ですが、三つのパーソン、すなわち父、子、霊があります。 II. 私たちはキリストにある信者として、手順を経た三一の神の中へとバプテスマされました: Aマタイ 28:19で与えられた命令は、主イエスが復活の中へと入った後、彼によって与えられました。復活は、三一の神の手順の完成でした。 **B**三一の神は、手順を経過しました。この手順は、肉体と成ることをもって開始し、人の生活と十字架を含み、復活をもって完成しました。 **C**復活において、三一の神の具体化であるキリストは、命を与える霊と成りました。 **D**この霊は、三一の神の究極的完成であり、信者たちが神聖な三一の中へとバプテスマされるためです。 **E**三一の神のパーソンの中へとバプテスマされることは、手順を経た三一の

神の究極的完成である、すべてを含む、究極的に完成された霊の中へとバプテスマされることです: **1**これは、御父の豊富の中へと、御子の豊富の中へと、その霊の豊富の中へとバプテスマされることです。 **2**私たちは今、バプテスマされた者として、三一の神との有機的な結合の中にいます。こういうわけで、御父が持っているものは何であれ、御子が持っているものは何であれ、その霊が持っているものは何であれ、私たちのものとなっています。 **F**三一の神の御名の中へとバプテスマされることは、三一の神との奥義的な結合の中へと入れられること、また神であるすべてを私たちの存在の中へと適用することです。 III. キリストは、手順を経た三一の神の中心です: **2コリント 13:14** 主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりとが、あなたがた一同と共にありますように。 **A**「手順を経た」は、三一の神が経過した極めて重要な段階を指しています: **1**肉体と成る前、神は手順を経ておらず、神聖な性質を持っていましたが、人の性質を持っていませんでした。しかし、肉体と成ること、人の生活、十字架、復活、昇天を通して、三一の神は手順を経て究極的に完成されました。 **2**啓示録において、三一の神は、手順を経て究極的に完成された三一の神であり、神性、人性、人の生活、すべてを含む死、力強い復活、超越した昇天を持っています。 **啓 1:4** 恵みと平安があなたがたにあるように。今おられ、昔おられ、やがて来ようとしておられる方から、また彼の御座の前の七つの霊から、 **B**手順を経て究極的に完成された三一の神はその霊です: **啓 22:17** その霊と花嫁が言う、「来たりませ!」。聞く者も「来たりませ!」と言いなさい。 **ヨハネ 7:39** イエスはこれを、彼の中へと信じる者たちが受けようとしているその霊について言われたのである。まだイエスの栄光が現されていなかったのも、その霊はまだなかったからである。 **1**その霊は、神の霊の称号のすべての要素の全体、総合計です。 **ローマ 8:9** しかし、確かに神の霊があなたがたの中に住んでいるなら、あなたがたは肉の中にいるのではなく、霊の中にいるのです。もしだれでもキリストの霊を持っていないなら、その人はキリストのものではありません。 **2**手順を経て究極的に完成された三一の神の究極的完成として、その霊は神の新約エコノミーの祝福です。 **C**啓示録の中の三一の神は、建造する神であり、また建造された神です: **1**聖書は新エルサレムにおいて究極的に完成します。新エルサレムは、初めにいた神ご自身です: **啓 21:10** そして彼は私を霊

の中で、大きな高い山へ連れて行き、聖なる都エルサレムが、天から出て神から下って来るのを私に見せたが、**a**唯一の神は、最終的に拡大され拡張されて、一つの都となり、それは神の永遠の表現となります。**b**神のエコノミーにおいて、神はすでに新エルサレムになっています。**c**新エルサレムにおいて、三一の神は、彼の選ばれ贖われた人々の中へと造りこまれています。**2**新エルサレムとなった神は、建造する神であり、また建造された神です。マタイ16:18 私はこの岩の上に、私の召会を建てる。ハデス[陰府]の門も、それに勝つことはない。エペソ3:17 またキリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができますように。**a**手順を経て究極的に完成された三一の神は、源、要素、本質として、ご自身を私たちの存在の中へと建造することによって、召会を建造しつつあります。**b**神は、ご自身をキリストの中で私たちの存在の中へと建造し、私たちを彼の存在の中へと建造して、彼の願いを成就しつつあります。最終的に、この建造の結果は新エルサレムです。**D**啓示録には、神聖な分与のための神聖な三一の究極的な啓示があります：啓7:17 御座の中央にいる小羊が彼らを牧養し、命の水の泉に導いて...くださるからである。**1**神聖な分与とは、神がご自身を、彼の選ばれ贖われた人々の中へと分け与えて、彼らの命、命の供給、すべてとすることです。**2**神聖な分与において、御父は源泉であり、御子は泉であり、その霊は流れです。**証**手順を経た三一の神について、私は以下の御言葉とFN1によって助けを受けました。2コリント13:14 主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりとが、あなたがた一同と共にありますように。**FN**この節は、神格の三一が、組織神学の教理的な理解のためではなく、三一における神ご自身が、選ばれ贖われた人々の中へと分与されるためであることを、強く証明します。聖書の中で三一は、決して単なる教理として啓示されていません。それは常に、神と彼の被造物との関係、特に神が創造された人、とりわけ彼が選び贖われた人々との関係について啓示されているか、あるいは述べられています。

私は救われる前、何に対しても無気力な人でした。しかし、大学一年の時に救われて、主を愛するようになってから、天然的に「主のために頑張らなければならない」という感覚が強くなるようになりました。ところが、時々、その頑張る力がなくなっていると感じる時、私は大変不安になりました。その後、私は自分の頑張る気力がなくなっているのに気付きました。私は、「これからど

うなってしまうのだろう」と思い、恐怖感を感じました。その後、自分が学んできた聖書、特に手順を経た三一の神が私の享受であることを思い出し祈りました、「私はあなたのエコノミーを十分に理解しておらず、自分の生活に適用できていません。私の宗教観念、固定観念を取り除いてください。私はいつも神聖な分与に開いている人になりたいです。私はあなたの恵みを享受する人になりたいのです。そうでないと、あなたが手順を経られたことが私にとって大無しになってしまいます」。

また、私はピリピ1:19から助けを受けました。というのは、あなたがたの祈り求めることと、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、このことが私にとって救いとなることを知っているからです。**FN1**この救いは、支えられ強められ、キリストを生き、キリストを大きく表現することを意味します。これは、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を必要とします。**FN2**これはキリストのからだ、召会の供給です。入獄は、パウロをキリストのからだから隔離したり、からだの供給から断ち切ったりはしませんでした。**FN3**ギリシャ語の言葉は、合唱隊の編成者、指揮者が、団員のあらゆる必要を供給することを意味します。すべてを含む霊の満ちあふれる供給は、キリストのために苦難を受ける中で、パウロがキリストを生き、大きく表現することを可能にしました。**FN4**これは単に、主が受肉される前の神の霊ではなく、主が復活された後の神の霊であり、主の受肉(人性)、十字架の下での人の生活、十字架、復活と調合された神性を伴う聖霊です。

私は次のことを理解し始めました、「恵みの分与に開き、キリストのからだの供給に開いていなければ、正常な召会生活を続けることができないだけでなく、持つこともできません。この満ち溢れる供給を受けるために、私はからだの生活の中でからだの供給を受ける必要があります」。また、最近読んだガラテヤ15メッセージ45は助けになりました。「あなたは、自分が弱く、神があわれみ深いことを知って、聖霊を遣わして強めていただき、神の被造物の一人として正常に生きるように求めるのでしょうか？ もしそうであるなら、あなたは被造物の立場に立って、聖霊の助けを要求しているのです。...被造物の立場は、彼に信頼する正常な立場ではありません。イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給の豊満を要求するために立つ正当な立場は、私たちが神の子たちであるという立場です」。私は召会生活に留まり、内側の命の霊に従って、その霊の満ち溢れる供給にあずかり、召会を建造することができます。